

幸運を呼ぶ魚：シーラカンス

在マダガスカル日本国大使館
(コモロ兼轄)

体長2m強、体重90kg、しなやかなヒレを持ち、特技は逆立ち（をして海底にうごめく生き物たちを丸呑みすること）。屈強なアスリートのようなプロフィールのシーラカンスですが、3億年前と変わらぬ姿でいることから「生きた化石」とも呼ばれます。その現生2種のうち、1種がコモロ諸島で確認されています。

鮭に似た風貌からその味が気になるところですが、昔、シーラカンスがごくまれに捕獲されていたコモロ諸島では、漁師達の間で「食べられない魚」、「使えない魚」との語義をもつ「ゴンベッサ」の名前で知られていたようです。

現在では、その希少価値から、「幸運を呼ぶ魚」と呼ばれ、「ゴンベッサ」も元々の意味から様変わりしています。3億年前から変わらないシーラカンスと手のひら返しをした人間界。ありのままを貫いたシーラカンスから、人生の教訓が学べるかもしれません。



普段は深海数百メートルで生活しており、その生態は謎に包まれています。



ぬいぐるみが売られるほど人気者に。